



## アサガオの二葉が出てきました。(1年生)

5月11日(木)、1年生が生活科の授業で植木鉢にアサガオの種を植えました。生活科の授業の中で、スケッチをしたり、特徴を調べたり、アサガオの観察をしました。これからしばらくすると本葉が出て、どんどんつるが伸びてきます。アサガオが育っていくのを観察する中で、子どもたちはどんなことを感じ取っていくのでしょうか。



子どもたちは学校生活の中で、なかまとのかかわり、授業における意見の交流、校外学習や自然観察、実験や体験活動などの中で、それぞれが自分の思いを持ち、さまざまなことを感じながら成長しています。毎日、心がある、感情を持つ、人と人がかかわりながら学校生活を共に過ごしているのですから、うまくいくことばかりではありません。時にはなかまと言ひ合いになったり、うまく進まなかったりすることもあるでしょう。しかし、その一つひとつの積み重ねが今はとても大切です、将来大人になった時には、経験としてとても役に立ちます。「失敗は成功のもと」とも言いますが、子どもたちには、さまざまな体験や経験を重ねる中で、心豊かに、感性豊かに、育ってほしいと思います。

## 小学校生徒指導学校訪問がありました。

5月19日(金)に、四日市市教育委員会指導課 指導第2係による「生徒指導学校訪問」がありました。この学校訪問は『各小学校と指導課が、生徒指導等の進捗状況について協議する機会を持つことにより、生徒指導の一層の充実を図る』というねらいがあります。1年生から6年生、すべての学級の授業を参観していただき、今後の本校教育活動への具体的なアドバイスをいただきました。



指導主事の方々からは「どの授業も黒板がきれい、見やすかった。先生たちの授業をやっている表情が良かった」「休み時間にみんなが使っているトイレのスリッパをそろえてくれている子がいて、感心した」「授業の終わりがけに子どもたちから「もっとやりたい」という声が出てくるのが良かった」等、お褒めの言葉をいくつかいただきました。逆に、「相手に対する言葉の使い方が乱暴な場面が見られた」「休み時間に子どもたちの室内遊びがうまくできていなくて、指導が必要だと感じる場面があった(参観時は雨天でした)」等、今後に向けての課題もいくつかいただきました。

本校の良いところはのび、悪いところは改善して、より良き水沢小学校にしていきたいと思ひます。

## 授業参観等への参加、ありがとうございました。

5月26日(金)は、5、6限目に、授業参観(1~4年、6年)、自然教室説明会(5年生)、ネットトラブル防止教室(5、6年生児童と全保護者対象)を行いました。平日にもかかわらず、ご都合をつけていただき、多くの保護者の皆様にご来校いただきました。本当にありがとうございました。



現在、学校教育においては、「非認知能力」が注目されています。非認知能力とは、子どもたちの学びに向かう力、人間性などの育成に欠かせない力であり、認知能力の土台となるものです。非認知能力の向上をめざすためには、①子どもの興味・関心を引き出す環境を作る ②子どもが成功したら褒め、失敗しても責めないといった考え方を持つことが重要だと、アメリカ哲学者のデューイが唱えています。

学校教育においては、子どもたちが自由な発想に基づき、成功や失敗を経験し、学びを深める過程の中で非認知能力の育成が行われていきます。本校では、こうした環境を大切に、子どもたちが変化の激しい社会を生き抜いていけるように、支援していきたいと考えています。

※認知能力……点数にできる知識や技能(読み・書き・計算・体力など)

※非認知能力……我慢や落ち着くための力(忍耐力・自制心) やる気や挑戦のための力(意欲・向上心)  
思いやりやコミュニケーションのための力(共感・協調性) (文責 北住 昌文)

